

騒音性難聴を防ぐ

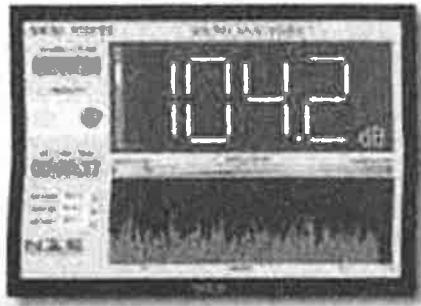
エヌエスイーが監視モニター

【立川】エヌエスイー（東京都調布市、野澤順一社長、042・440・3872）は、騒音性難聴を防ぐための騒音監視モニター「サウンドキー」を15日に発売する。大音量で音楽を流すスポーツジム

ドキー・パー・写真」を15

日で発売する。周波数から騒音源を調べられるほか、音圧の記録は施設利用者に難聴の症状が出た場合に原因の判断材料になる。

同社は音響設備メーカーで小さい出力で音を広く伝えるスピーカーを中心とする。騒音監視の事業を通してスピーカーの販売につなげていく。



や騒音の激しい製造現場で音を測定し、長時間さらされると警報を出して難聴になる危険性を知らせる。価格はパソコンを含めて約40万円で、年間100台の販売を目指す。

音圧と周波数を測定し、積算して騒音の暴露量を求める。現場で騒音

販売を目指す。

電力を使わず手動でし

づくを除去し、傘袋のゴ

ミも減らせる。1ファイル

で全20万本分の処理能力を持つ。サイズは幅

30センチ×奥行き45センチ×高さ97センチ。重量約16キログラム。

色はオレンジとグリーンの2種。オリジナルの

色、デザインの受注生産にも応じる。

アメデス・Qの開発は、09年に近畿経済産業局の新連携事業に認定されている。